上方苦界草紙（1991）

メディア 映画
ジャンル 文芸
製作国 日本
色彩 Color
時間 100分
初公開日 1991/02/09
公開情報 松竹

【解説】
藤本義一の同名短編小説を、高山由紀子が脚色し村野鐵太郎が監督した。イタリアのサレルノ国際映画祭でグランプリを受賞。芸に執念を燃やす姉妹を、原田和代と葉山レイコが体当たりで熱演した。
明治21年ごろの伊勢参宮街道では、お杉とお玉という女二人組の旅芸人が人気で、同じ名前の芸人が少なくとも五組は存在したという。お杉、お玉、お文の三姉妹は五年前、お満に三味線を仕込まれた。しかしお玉が男と逃げてしまったため、お文がお玉を名乗り、長女のお杉とともに三味線を弾くことになった。お杉は三味線の演奏中に着物の裾をはだけて足を開く芸を披露し、お文を驚かせる。芸を磨くため女になれとお文を抱いた義父の源は、お満に殴りかかられるが逆にたたきのめしてしまう。

【クレジット】

監督	村野鐵太郎
製作	川野泰彦
	末吉博彦　Hirohiko Sueyoshi
	村野鐵太郎
プロデューサー	島田十九八
原作	藤本義一
脚本	高山由紀子
撮影	吉岡康弘
	馬場順一
美術	神田明良
編集	阿部浩英
音楽	本條秀太郎
音楽プロデューサー	石川光
助監督	鈴木政信
出演	原田和代
	葉山レイコ
	小川真由美
	井川比佐志
	峰岸徹
	片桐夕子
	菅井きん
	田中邦衛

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.